

Adult Only
成年向



性
命
遊
戲

十永琳総受け合同本十

一から始めよう

当本は成年向けです。
ご使用の際は用法、回数
守って正しくお使い下さい。



+ 目次 +

3P～矢本堂落書市

15P～塵芥

25P～限月

31P～DOUMOU

41P～VENI

57P～AbysDragon

65P～pinktips.info

75P～雪陽炎

85P～かりび庵

98P～武蔵堂

100P～ヤンマーソン

108P～咲耶17歳



それはずっと昔のこと
私が月にいた時代の話

八意先生
すみません

私は当時、薬師の集団の
中でもトップの扱いで

今回の薬
なんです

周囲の相談役の
ようなこともやる
事が多かった

それなら
こうすれば

— 八意ルナティック —



才女であり、相談役
立場的にいい位置で
尊敬もされていた

やあ、八意先生

ただ、だからと言って
良いことだけがある
わけではなく

また相談に
乗ってくださいよ



また？
いつもね…

仕事をはけて
から聞いわ

それじゃ…
あとで





どうせまた
アへんだろ!

うるせえな!



や、やめなさい!
何をしてるか!



ほら、我慢
してみろよ

才女の八意
先生よお?



またおかしく
されて……

あんなのもう
厭なのに……っ……

おいおい、何
言ってるんだ?

……だめ……っ
いや……っ



やめなさい!
もう揉まないで!
薬が……っ

今更何言ってるんだ
クールな八意先生♪

アンタみたいなのを
落とすため薬だぜ?

試さないの意味が
ねえだろうが!



だめ……っ
やめ……あつ!



何がダメなんだよ
この雌牛が!

あああ
あああ
あああ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

派手に乳汁吹いて
イキやがったぜ
この雌牛はよ

こうなると家畜と
同等だよなオイ
才女の八意先生よお

ば…バカな事は
もういい加減に…

こんな事したって
意味が無いのは
わかるでしょ…?

く……っ
や…あつ

へえ、まだそんな
口がきけるのかよ

それなら
しょうがないな

黙ってハイって
従えばいいのによ

また頭ユルユルに
なるまで注射して
やらねえとな

いや…っ

いやあ!

こうして私の地獄は
いつも通りに
始まってしまった……

あれだけ嫌がってた癖に
随分気持ちよくなってる
じゃねえか雌牛女!

だめっ

おい、なんで抵抗
やめてんだ?

気持ちいいです
って顔だぜ?

はっどろっ

焼き尽くすような
快感に脳まで焼かれ
突かれるたび「女」を
自覚する羽目になる

本気で抵抗しよう
としてもいいなりに
なるしかないのだ

ケツ穴が寂しそう
だからもう一本
くれてやるぜ?

えっ何ぞ



何って……
ケツが寂しいだろう？

だからもう一本
ブチ込んで満足させて
やろうってことだ

え……

だめ！ だめえっ！
それはあつ！



良いから
愉しめや



そうら
入るぞ…



へへ、凄いなコイツ
急に締め付けキツク
なってるぜ、オイ

オラ、ケツ穴ほじられて
感じてんのかこの雌牛!!
なんとか言ってみろよ



出してやつから
喜んで受け止めるよ!

ケツ穴とダブルで
出されて妊娠しろ!





もうコレなしで
生きられなく
なってねえ?

また派手に
イツたなおい



こうして犯され続け
た結果、私は今みたい
に身体を成長させられ

じゃ、ほら
いつも通り

ちゃんと
お掃除して
くれよ♪

平常的なセックスに
身体が反応しなく
なってしまった——

そろそろ金取って
商売させねえか？
儲かるぜ、絶対

はは、鬼畜いなお前
『才女とやり放題』
ってか？ おい

さらに副作用で私の
身体は薬も毒も
効かなくなった——

そうして私は
常人でいられなく
なってしまった……

カタッ

ポッ



そうして話を切り上げ
伝票を見て僕は気付いた

そこにあつた明細には
少々高めの酒の名前が
ちらほらあつたのだ

吟醸二本に大吟醸が一本
そして僕はたまたま今回
大儲けをしたんだが――

あの……
八意女史？

なあに？

多分作り話なのだ、これは
彼女は僕が大儲けしたのを
耳にしたに違いない――
実に酷いばかり方である

そういうことか
わかったよ――

その気持ちが酒で
埋まるなら安いモノだ
今日は奢りにしよう

あら優しい♡
大好きよ、貴方の
そう言うトコ♪

そういうことにして、僕は
全て忘れることにした――
財布の軽さと共に……

END



いらっしゃいませ
ご主人様



今...
しほいたてを
用意しますから

これが...



※えーりんです。

お待ちして
おりました♡

ご主人様に
調教されて



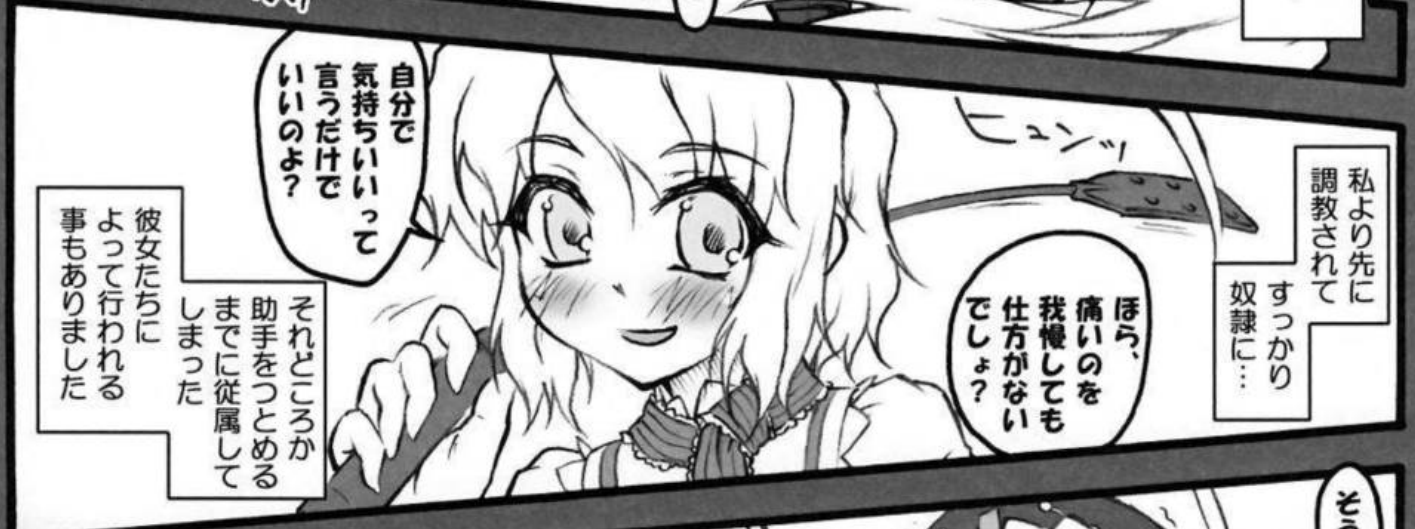
今の私の
役目です

少々おまち
くださいお♡

今ではもう
すっかり

奴隷としての
生活が板に
付いてきました

永琳
~東方少女催淫~
Extra Stage
「これはエーリンですか？」
破蒂 芥





はち

きゅ

はち

がらがら...



せ

アイツ



ガッ

はち

私が好きなのは叩いてあげるしかないわよね?

でも、あなたがいけないのよ?

そんなに強情じゃ...

あはっ
ごめんなさいね
ガマンできなくっ♡

はち

え...?



こんなに…
つめ込んだら…

はじけちゃう…

私は
身も心も
休む間も
無く調教
された



ご主人様が
する時以外も
かわる
がわる

やめて…
もう…
入らな…

うあ…
うう…



あら
心配
しなくても
大丈夫よ

お医者様でも
自分のお腹の中の
事はわかりにくい
かしら？
その子は
ただ…



通り道を
通っているだけ
だもの♡

そ…
それって…

え…

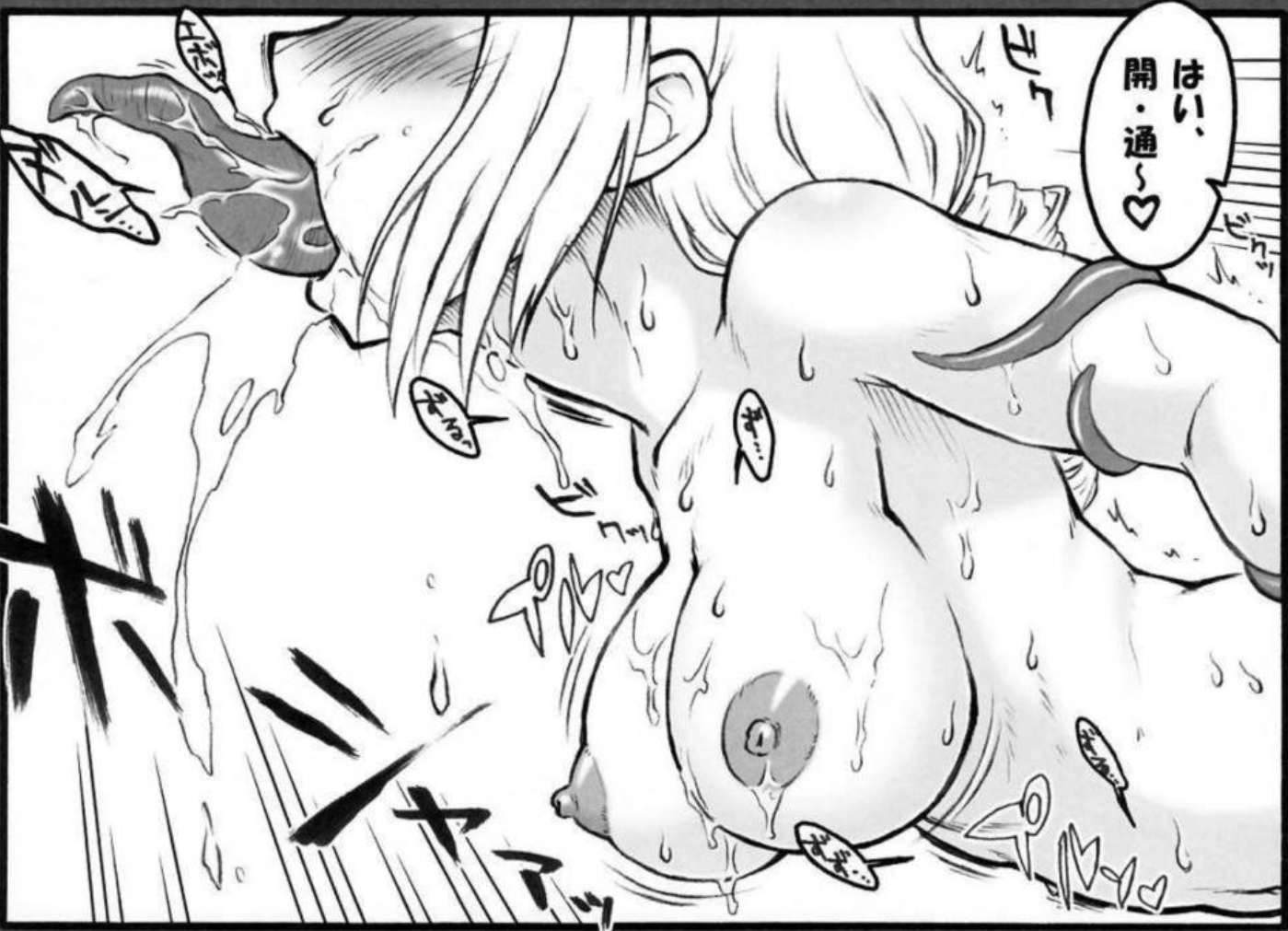


食道まで...
のぼりて...



中身...
逆流して...

開いて...



はい、
開・通〜♡

そんな
ふうにな

……

まるで
私の体が…

あ…

ごきげんよう
ご主人様

本日も
私達「トイ」を
使いにいらして
くださって…

ありがとう
ございます♡

そういう事を
するためだけに

なにぶん
こちらのトイは
まだ新米ですの…

すう…

その為だけに
あるように
扱われて…

おそれいりますが
粗相をして
しまわぬよう…

奥まで
お・い・ん・で
の
ご利用を
お願いします

た…



ううん...
今ではもう...

もっ...

もっ...
スゴい事
したくて...

この胸
だって...

ん...ッ

ん...
は...



まだ妊娠
しても
いないのに...
自分で
薬を使って

出るように...
しちやい
ました...♡

あ...♡

は...ッ



でも...
できれば
ホントに...♡

あん...♡

ご主人様
お待ち
くださいっ
今は...ッ





だめ……
スゴクお熱い♡
おっばいおっばいの
スゴク♡♡

ビクビク

おっばいおっばい♡
おっばいおっばい♡
おっばいおっばい♡

ちくびの
内側から
アツク……

ポタポタ



でも
いつかは……

ホントに
おっばいが出せる
カラダに……

仕込んで
くださいね♡



しぼりたて
ミルク……
はいりました

どうぞ
お召しあがり
ください

永琳さん
こっち終わりましたよ。

ん。
少し待ってくれるかしら
こっちもそろそろ終わるから

えーりんさあんっ

ふあっ！

ん…っあ…もう…ダメよ
あと少しなんだから
少しはガマンしてちょうだい

ん…もう
そんな自分勝手な…
あとでゆっくり…
ん…っ

永琳さんは気にせず
仕事していいですよ
楽しませてもらいますから

なんだかさつきから
ムラムラしてきちゃって
もう我慢できないんですよ…

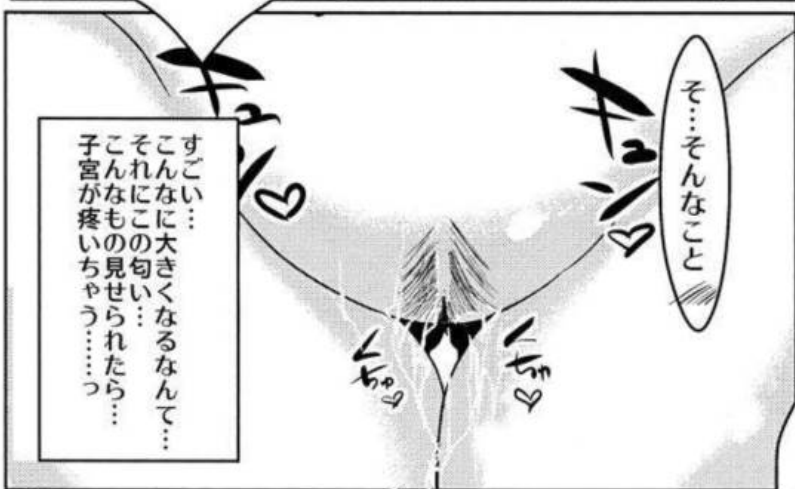


ん...もうだめだって...ばっ

どろろ

ボロ

.....っ!



そ...そんなこと

すごい...
こんなに大きくなるなんて...
それにこの匂い...
こんなもの見せられたら...
子宮が痛いちゃう...っ



ちよっと...なんてもうこんなになってるのよ

さあ...?
永琳さん ぼくに
なにか飲ませました?



もう...

仕方ないわね



はい…どうぞ♡

……っ
あなたが
あんなにやらしく
揉むからよ……っ

永琳さんのおまんこ
すごいトロトロですよ…
準備万端だなんて
いやらしい人ですねえ

私だって
あなたと早くしたくて…
ずっと…我慢していたのよ



それじゃその期待に…
答えますね…っ

もう…っ

ん…
そんなゆっくり…っ

ん…っ
おちんぼ入って…くる…っ

あ…っ
あ…っ
あ…っ

ふ…う
あ…あ
あ…ん…っ



きもち…いっ…
んああっ ああっ
もっ…ひあっんっ
もっ…奥まで…っんあっ
突いてえ…っ

いきなり…っ
すこ…いっ
こん…いっ
効…ん…にっ
ん…あ…あ…あ



もっ…っ
もっ…犯してえっ
遠慮…ん…っ
わたしの全部を…っ

ごっごっ…っ
子宮が突かれて
おちんぼ
きもち…いっ

わたひ…もう…っ
いつ…ちや…っ
おまんこ…っ
イク…っ

あなたも…っ 来て…っ
射精してえ…っ
ど…び…ど…び…っ
私…の…臆…に…っ
た…く…さ…ん…射…精…し…て…え…っ



また子宮に
いっばい
直接
精子暴れて...

子宮...うけちゃ...うけ...

こん...あ...つ...あ...
いっばい...に...何...も...
ふふ...ばい...ん...
受精しちゃうてるかも
じれないわよ...?

もう...バカ...
そんな事言われたら
もっと...
望んじゃうじゃない

ね...まだ出来るでしょう...
もう...仕事なんて構わないから
この時間を...二人きりの時間を
目一杯楽しみましよう...





んた
は

はあ

もう
戻らないと
来る…



あ

は



だめ…
だってば…

は



っこんなお勝手で…
すぐ隣にみんな
いるのに…

大丈夫ですよ
あの人たち
すっかり
出来上がってるし





まるで
変態ね...

んっ...こんなことで
興奮するなんて

あ
もっ



ちよっと
興奮しません？
こっぴどいの



はっ

あ
あ

ん



そういう師匠だつて
乳首固くなつてるじゃ
ないですか

はあ

はあ

それはあなたが
弄ったから...

はあ



全然触つて
ないのにもう
トロトロですね

あ
はあ



あ
こ…

これは…あんたが
オツパイ
弄るから…



じゃ、
こつちは？

あ
はあ
あ
はあ



恥ずかしがらな
くつても
良いんですよ



あへへ…
師匠かわいい
れすう♡

ガ
アッ

…つて、へ…
変な事言わせ
ないでよ！



またあなた
人の薬を
勝手に...



私ももう
こんなだし



えへへ
もう入っちゃい
そうですね



んっ
やつはちよっと
きついかな...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...

あ





頭...真っ白に
なっちゃいそう...っ



師匠私
もう...っ

七つ

一緒に...

それならっ

私も

きゅん

いっしょ

ああ

ああ

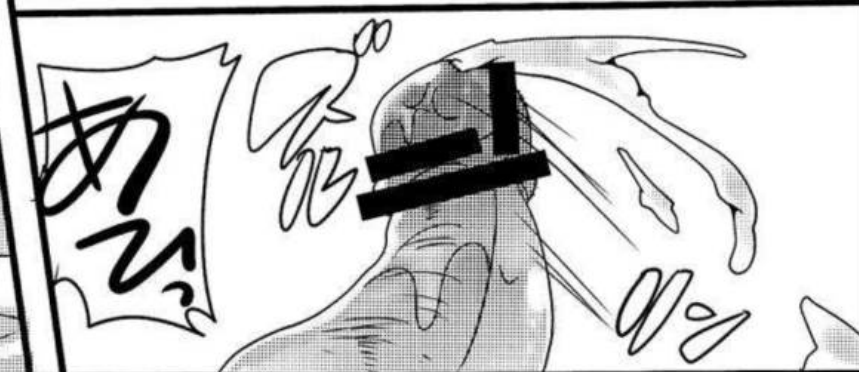
ズン

ズン



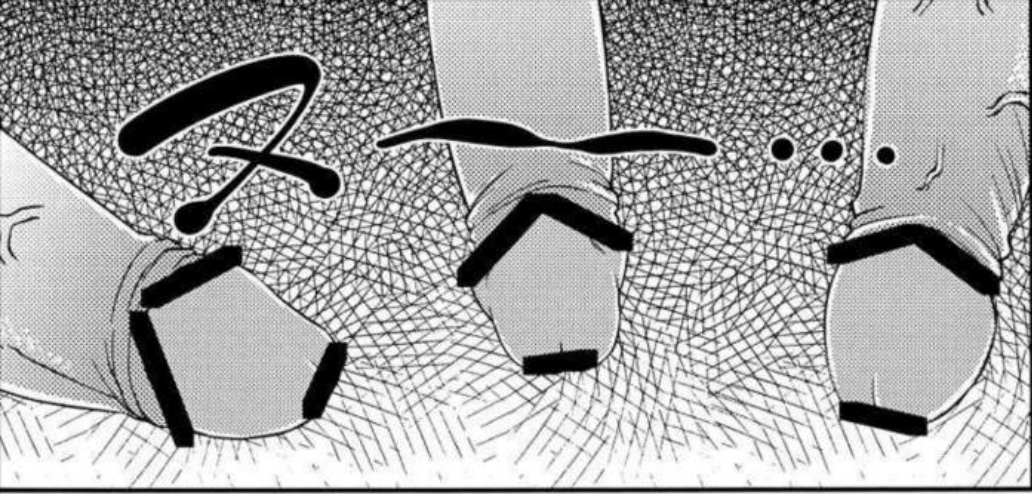
まだある？
ないと言わせ
ないぞー

おい
酒きたん
だけど



はっ入って
来ないでよお！
目がああ！
なんなのよもう！
何がどうしたって
いうの！

どうした？
何の騒ぎ？
あわわ
わわわ
目があー
目があー





八意様

先ほど申しましたように
彼らは貴女の裏切りのとき
大切な人を失った者達です

おちゃー

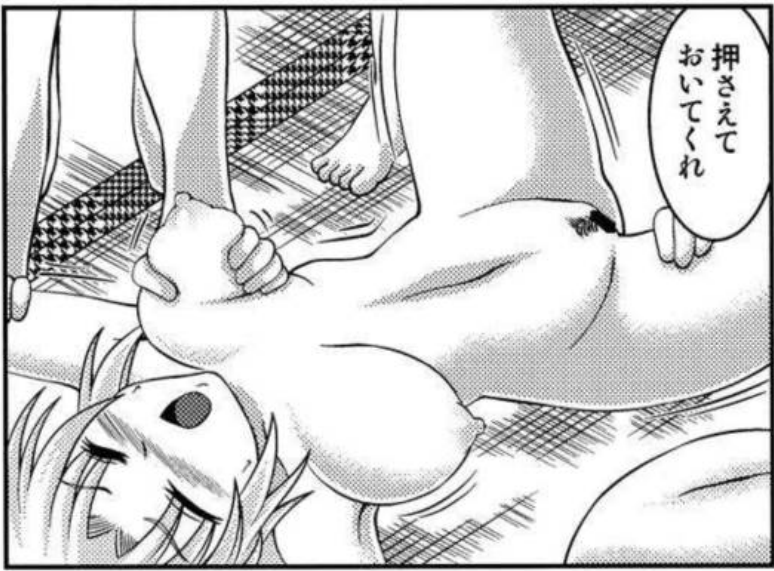
しかし死を恐れぬ者に
償わせるのは簡単なこと
ではありません

……
なんですか
その目は？



死ぬわけでもなく
幻想郷も安泰

随分と譲歩した
つもりなのですけれど？



押さえて
おいてくれ



そうじゃそうじゃ

わしの孫も
お前さんに
殺されたんじゃ



年功序列じゃ

わしから
いかせてもらうよ



まさか本当にあの
扇子を使う気は
無いだろうけど……

私が我慢して
済むのなら……

ほー
綺麗なもんじゃ



しゃぶって勃たせて
もらおうかのう

ううっ……

ぴちや



そうじゃ
その前に……

ぐいっ

もう歳で
勃ちも悪くてのう



ほほっ

たまらんわい



さて

ぬちやあ……

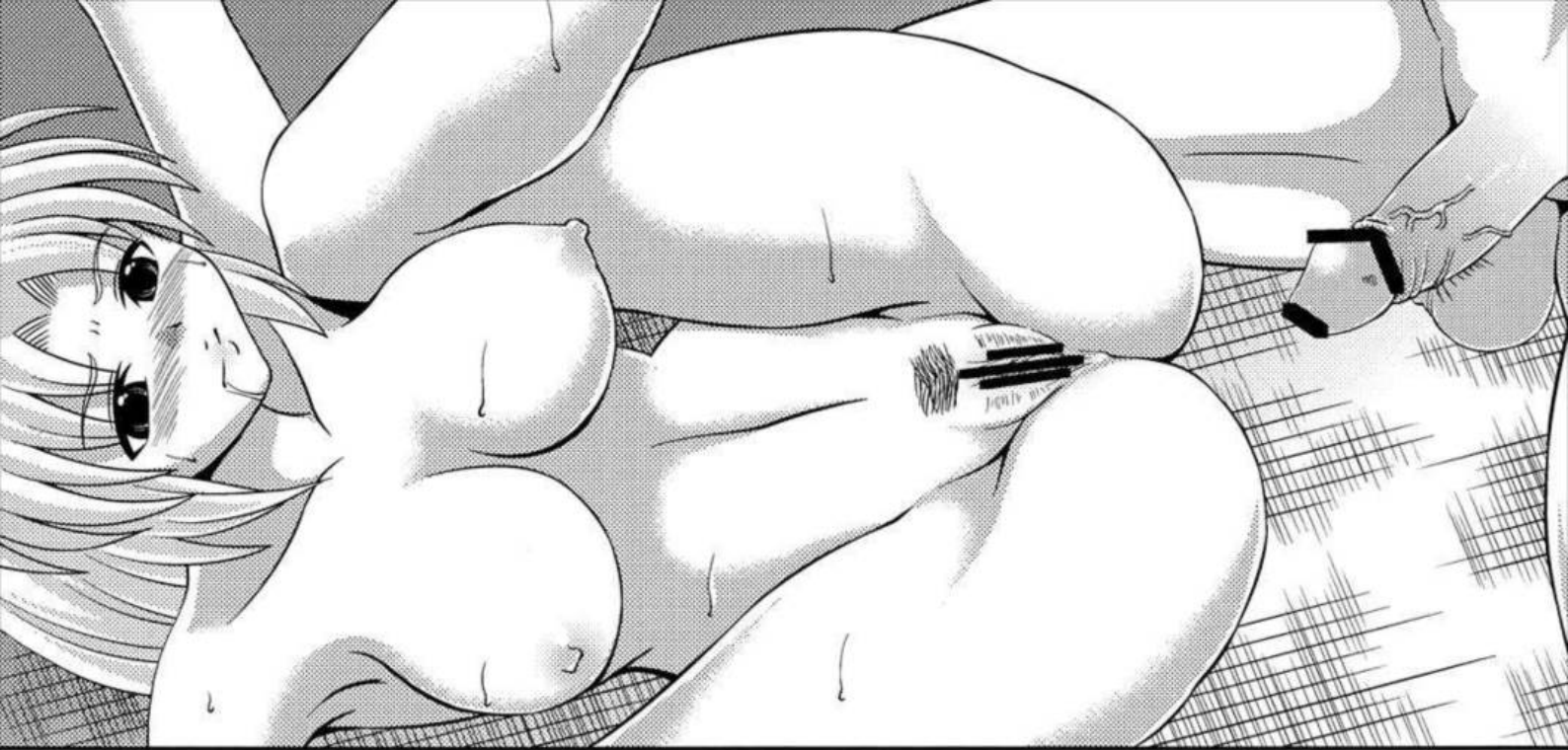
もうええ



ぐぐっ!!

肉厚な唇が
良いのう

ゴックン





ほっ



んーまだ
硬いのう
まるで
初モノじゃ



根元から締められて
いつもより硬くなるわ



機会があれば
味見しようと思
っておったが



体はもっと
貧相じゃったが

わしの孫も
器量良し
じゃった



まあこうして
あんたと
できるなら

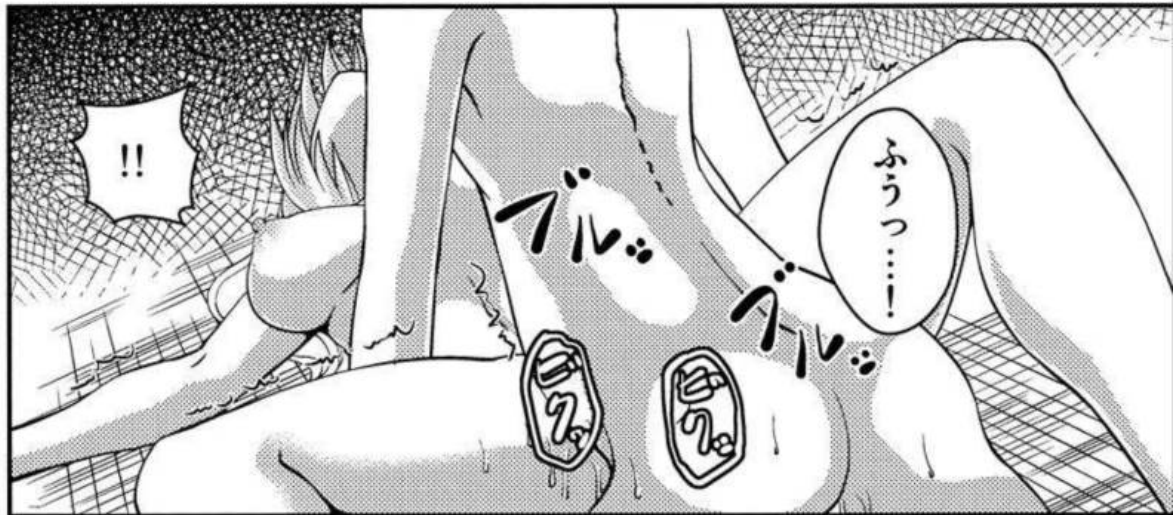
あの子も
役に立ったわい



あんたに
殺されて
しもうたて



久々だから
随分出るわ



!!

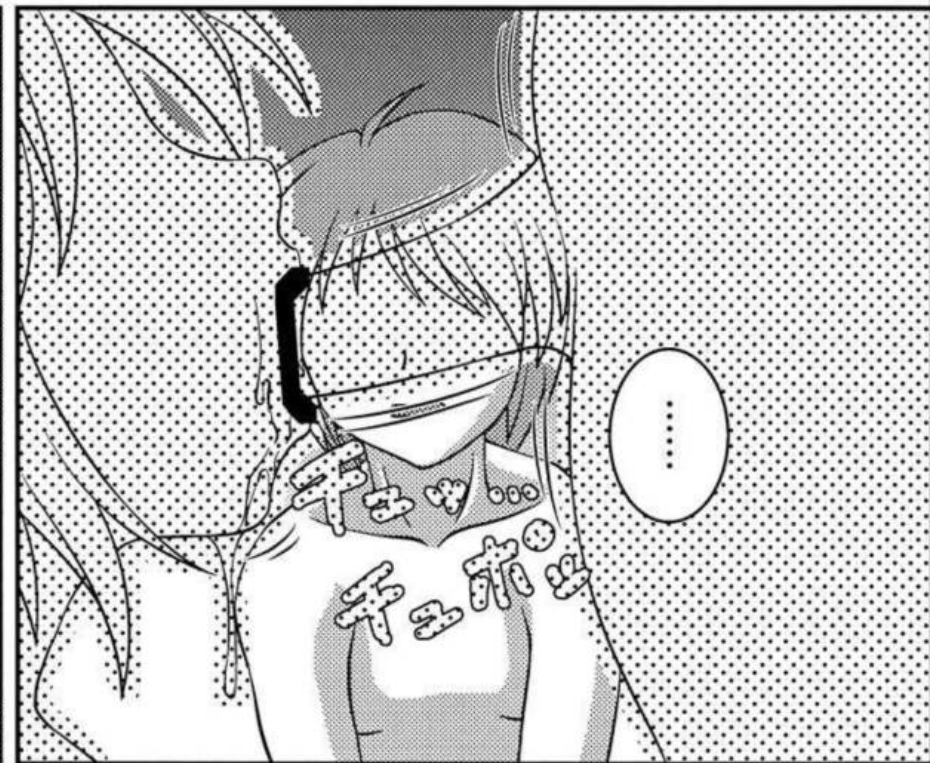
ふうっ……!



残り汁は口に
注いでやると
しようかのう



老いぼれの精液も
悪くないじゃろ





んうっ!!



うわ……

すごく熱い……



んっ

んっ



どうだ
初まんこは？

あったかい……

キョウウウウ

ヒクッ

ヒクッ



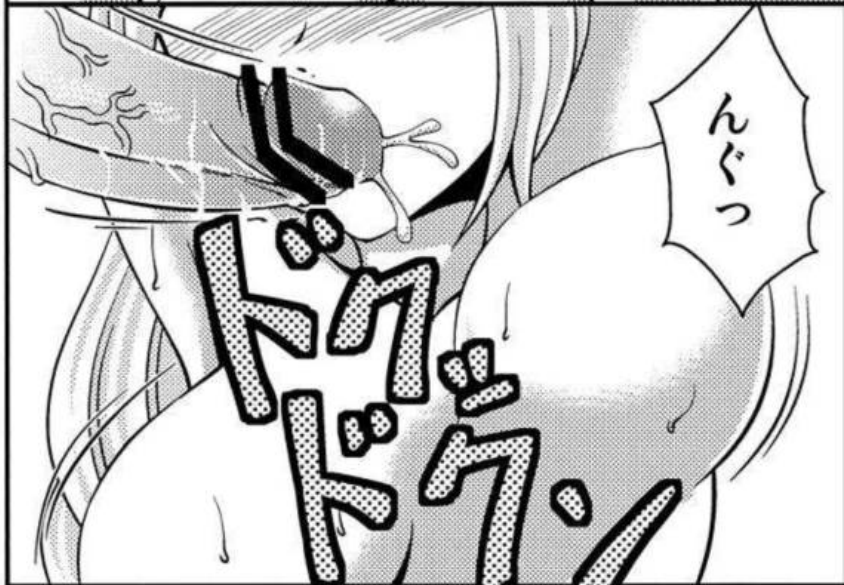
吐き出すなよ

口の中に溜めておくんだ



はあ…

はあっ…



んぐっ

ドグドグ



ハハッ

下の口もだな

ドグッ



こっちもだっ

—!!



ほら足してやる

うっ…





父さんと母さんは
お前に殺されたんだ



仇討ち
なんだ……

これは……



体全部捧げる
べきだ!!



みんなの……!!



おおおおあ!!

がはっ!!

ガッガッ



無理い……

そんな……
二本なんて……



んじや俺が
使わせてもらうぜ

この体勢なら
前が空くな

ビクッ
ビクッ

グニッ



不老不死
なんたら

心配ねえよ



あああああ

ビッ
ビッ

ちゅっ
ちゅっ

この方が少しでも
早く償える
じゃねえか



こんな事
したって誰も……



何が償いよ……
幻想郷を盾にとつた
ただの脅迫じゃない



ツ!!

んんん

まだまだです

全員が満足するまで
何度でも……

償ってください

ペロッ



生命の輪廻から外れた
蓬萊の薬の味――

その罪を
身で味わうことにまず千年。

『私は皆とは同じにはなれない』と
心で味わうことに更に千年。

『自分なりでもいい、
この罪に意味を見出そう』と
足掻くことに
更に千年――



口でするのは
嫌いじゃないわよ

貴方も
悦んでくれるし

ん♡

はぁ

ひゅっ

ちゅっ



ひゅっ
しゅっ



……温もり
かしらね。

はぁ

はぁ

ん♡

む

ちゅっ♡

……

なで……



なにが
いいのかって
それは……

はぁ

一言に温もりといってもそれは一様ではない。

唇を、舌を絡める温もり、吐息を交える温もり、

ずる、

背に身を預ける温もり、

胸板に抱かれる温もり、腕に包まれる温もり、

んん

ぬる

ずる

はあ

たふ

はあ

はあ

はあ

んん

んん

んん

んん

でも、『まじ』と
身体を重ねる温もりは特別。

お互いに、
身を許しあわないと
得られない

代え難い『命』の温もり――

知

